広報 かも

No.570
平成15年 12

第11回育団連ソフトドッジボール大会
(11月23日)

お気軽においでください

市民と市長の「よもやま話」の日

12月25日(木)・午後1時30分から行います。
・時間等については御相談ください。

【受付・問い合わせ】 市役所3階 総務課広報広聴係
(☎52−0080 内線323)
までお願いします

主な内容

■サンデー毎日掲載の小池市長
イラク派兵反対の記事 …… ❷❺
■齋藤梨恵さん技能五輪金賞受賞 …… ❽
■桑原静子さん日展入選 …… ❽
■65歳以上の方へインフルエンザ
予防接種を無料で実施しています … ❼❽
■長年の功労に秋の叙勲 …… ❾
■市展賞受賞作品を紹介 …… ❿⓫
■加茂の風土記「下条中興野の米山塔」 ⓯

第41回技能五輪全国大会
齋藤梨恵さんが日本一の金賞に（西洋料理部門）

第四十一回技能五輪全国大会が新潟市で十月二十五、二十六日を中心に開かれ、西洋料理部門で齋藤梨恵さん（八幡三・23歳）が金賞に輝きました。

この技能五輪は、中央職業能力開発協会が主催して毎年開催され、各都道府県代表の二十三歳以下の若い技能者九百七十四人が三十四競技職種で技能レベル日本一を競ったものです。

各部門の最高賞である金賞に輝いた齋藤さんは、小さいころからお菓子作りが大好きで自分がつくったものを「おいしい」と言って食べてくれるのがうれしく、盛りつけが芸術的な西洋料理を志し、現在ホテル新潟へ勤めています。

今回の金賞受賞の感想を「自分が金賞なんて思ってもみなかったので非常に驚いた」と言います。大会前に県代表が集まり合同練習を行い「同じ料理でも手順や盛りつけが違って、とても勉強になった。また、その合同練習を通じて友達になれたことがよかった」と、結果と同じくらいに過程を喜んでいます。ふだんから「初心忘れず」をモットーに「衛生」に気を配りつつ日々の仕事に取り組んでいます。

趣味は「GLAYの曲を聴くこと」で、今後この技能五輪出場に際して支えてくれた周りの人たちに対して「ホームパーティーなどで腕を振るって恩返しのまねごとをしたい」と、はにかむすてきなお嬢さんです。

ほかに、加茂市からの入賞者は次のとおりです（敬称略）。

【銅賞】
・家　具
　舩久保洋介（第二十三区・21歳）
【敢闘賞】
・左　官
　近藤健司（大郷町二・20歳）
・造　園
　坂上大輔（八幡三・21歳）
・洋菓子製造
　金子尚美（小橋二・22歳）

日展入選
桑原静子さん

岡ノ町の桑原静子さん（68歳）が、十一月二日から二十四日まで東京・上野の東京都美術館で開かれた第三十五回日展の第二科・洋画部門で、初入選を果たしました。

「日展なんて雲の上の存在、入選するわけがないと思っていました」。入選の知らせには、本人が一番驚き信じられなかったということです。

桑原さんは、上越市高田に生まれ、それまで男子校だった高田高校が共学になったことから高田高校に入学、そこで美術部に入りました。当時は洋画でしたが、新潟大学教育学部芸能科絵画科に進学後、日本画に転向し、在学中に県展で奨励賞を二回、日本美術院の春の院展でも入選、将来を嘱望されました。

しかし、大学卒業後に中学校教諭となり、加茂中学校など各校に勤務していたときは「生徒に教えるのみで自分の創作はほとんどできなかった」と言います。昭和六十二年、五十二歳で教員を辞め県立高校の非常勤講師になり、誘われるまま三条の女性だけの絵画団体「朱陽会」に入会して洋画に再転向、さらに中央の「示現会」新潟県支部に入会し、会友、準会員、正会員となりました。

日展の初入選作「春の息吹」（百号）は、雪が解け残るモモ畑で「実際にはあるわけではない構成画」ということで、テーマに合わせて生み出した想像の風景です。風景画のほか、人物画にも取り組んでいます。

一緒に暮らす二人の孫や勤務先の三条工高の生徒たちからもらう大きなパワーがあればこそ「今も制作が続けられているのだと思います」と言う創作意欲盛んな桑原さんの今後にも大いに注目です。

第35回日展「春の息吹」　桑原静子

六十五歳以上の方々へのインフルエンザ予防接種を無料で実施しています。

加茂市では、来年三月三十一日まで、六十五歳以上の方々のインフルエンザ予防接種を無料で行っています。

インフルエンザが流行する前にかかりつけの指定医療機関などでよくご相談して、予防接種をお受けになることをお勧めします。

実施期間　来年三月三十一日まで（インフルエンザが流行する前に受けられることをお勧めします）

対象者　六十五歳以上の方（六十歳以上の方で心臓やじん臓、呼吸器に特に重い病気のある方も対象となります。なお、対象となるかどうかわからない場合は、かかりつけ医または、健康課にお尋ねください）

料金　無料（ただし、加茂市、田上町以外の指定医療機関で接種した場合、いったんその指定医療機関に個人負担金千五十円をお支払いいただき、後日、加茂市役所健康課で手続きしていただくと個人負担金をお返しします）

接種する当日に持っていくもの

◎予診票（必ず記入してください。予診票は指定医療機関、市役所、公民館、中央コミュニティセンターに用意してあります。インフルエンザの予防接種を受けるために大切なものですので、よく読み、正しく記入して、指定の医療機関にお持ちください）

◎保険証

問い合わせ　市役所健康課衛生係（電話五二―〇〇八〇内線一六二）

高齢者のインフルエンザ予防接種を実施している指定医療機関

	医療機関名	電話番号
加茂市	青柳医院	52—9511
	いからし小児科アレルギークリニック	53—2250
	薄木医院	52—1261
	大谷内科医院	52—0236
	小柳医院	52—0330
	監物小児科医院	52—0800
	小池医院	52—1038
	小池内科消化器科クリニック	53—3355
	小林医院	52—3042
	桜井医院	52—1827
	千葉医院	53—3850
	徳友医院	53—0167
	中村医院	52—0095
	ながば医院	53—0751
	二宮医院	52—1520
	にのみや内科クリニック	57—0770
	服部クリニック	53—4680
	堀内医院	52—0953
	本間医院	52—8936
	皆川小児科医院	53—3530
	みながわ整形外科医院	53—3877
	吉村医院	52—1037
	吉田内科医院	57—7511
	鷲塚医院	52—2054
田上町	今井医院	57—2139
	須田医院	41—5025
	田上診療所	57—5015
	田中医院	57—2024
	星野内科医院	41—4141
	県立加茂病院(内科外来) ※加茂病院は接種日が決まっています。 詳しくは病院へお尋ねください。	52—0701

★予診票は各医療機関で準備してあります。

★かかりつけの各医療機関で予約してから受けましょう。

★当日は、予診票と保険証および健康手帳をお持ちの方はご持参ください。

長年の功労に感謝・秋の叙勲

官民格差の是正や数字によるランク付けの廃止など、栄典制度の見直しが初めて適用された今年の秋の叙勲で市内から三人の皆さんが受章の栄誉に輝きました。

旭日小綬章（納税功労）

栢森昭二さん（矢立 76歳）

栢森さんは、現在、新潟県納税貯蓄組合総連合会会長、全国納税貯蓄組合連合会副会長などの要職にあります。会社勤続五十三年のうち税務団体の活動は五十年にも及び、受章は「思いもよらなかったが、会社の皆が一生懸命に仕事をしてくれたおかげで、自分はこういうお手伝いができた」と感謝します。

半世紀の活動の中で、納税貯蓄組合が昭和四十二年から中学生の税についての作文募集を始め、子どものころから納税について理解してもらおうと努めてきました。その作文の優秀賞はテレビ放映もされています。

また、今では全県的に組織されている租税教育推進協議会も加茂で最初に設立されることに尽力されました。

ほかにも、加茂青年会議所、加茂ライオンズクラブを通じた奉仕活動は三十七年にも及び、今も継続中です。そうした中で「人脈に恵まれ、大きなプラスになった」と喜びます。

仕事などの合間にも「趣味はいろいろあったが、五年ほど前に整理し、今はもっぱら雑学の読書。世界史の年表を見たり、子どものころ読んだイソップ物語をあらためて読んで今の世相に絡めて考えると非常におもしろい」と楽しんでいます。

夫人と一緒に臨んだ皇居拝謁では、腰を痛めていて車いすを利用した奥さんに天皇陛下から「お大事に」とお声がかかり、大感激、大喜びでした。

瑞宝双光章（地方自治功労）

坂上俊一さん（学校町 81歳）

「自分一人で何をしたというわけでなく、住民参加と協力のたまもの」と、一番の思い出に加茂川改修とこれに伴う西加茂の移転地造成を挙げ、受章は市民のおかげと感謝します。

坂上さんは、昭和十二年に七谷村へ就職、加茂市と合併後は市職員として、途中兵役などを除き通算すると実に半世紀近くもの奉職となります。その間、特別職は収入役五年十カ月を経て、助役を八年務めました。

一般職としては、土のう積みも経験した建設関係が長く、建設課参事、開発課長、総務課長を歴任し「加茂川改修に反対はなかったが、用地買収では移転交渉に難儀したことも」と振り返ります。最終的には関係住民の協力を得て、約六百戸一千百棟に及ぶ移転補償交渉がまとまり「市民が安心して暮らせる加茂川改修という大事業のお手伝いができたことが最良の思い出」と笑みが浮かびます。

ただ、「市街地商業人口が大幅に減った」ということを聞くと心が痛み「今は郊外店など別の要素も加わったが」と言います。

助役を最後に退職して十年、以前は健康づくりにジョギングをしていましたが、三年ほど前に腰を痛めてからは天気のよい日のウオーキングに変え、今の楽しみは「軽い庭木いじりと晩酌」ということです。

瑞宝単光章（統計調査功労）

石附カツ子さん（新町一 81歳）

昭和三十九年の消費者物価統計調査を皮切りに、工業統計調査三十四回をはじめ、商業、住宅、国民生活、国勢など各種統計調査に従事し、その数は百十九回にも及びます。近所の先輩に勧められたのがきっかけで調査員になりましたが、今回の受章には「まさか叙勲をいただけるなんて：本当にびっくりしました」と恐縮しきりです。

石附さんは、懇切丁寧に統計調査遂行に当たり、調査員の指導的立場で統計調査の充実発展に尽力しました。担当調査区域の事業所はもちろん、地域住民からも厚い信望を得ています。

「最初のころは知らない商店や工場へ行くと緊張したが、長い間務めてきて顔見知りになり友達になったのがいい思い出」と語ります。

叙勲の伝達式では、「皇居宮殿での天皇陛下拝謁には大感激しました」と、興奮さめやらぬ様子です。

統計調査員のほかにも、国民年金委員を通算二十六年務めました。夫を四十代の若さで病気のため亡くした後、昨年三月まで自宅で下宿業を営んで子ども二人を育て上げました。

かつて書道や踊りを習っていたということで、とても年齢には見えない若々しい笑顔が印象的な石附さんです。

第36回 市展

市展賞受賞作品紙上紹介

洋画

「レッスン」
神保悦

日本画

「杜」
山中冨士夫

写真

「ソーラン」
樋口貞三

彫刻

「Sさん」
神保悦

書道

「猛炬」
青木辰樹

工芸

「森の詩」
樋口公子

日本画「杜」（もり）

山中富士夫さん（学校町）

杜とは神社などのある神域で神霊の寄りつく樹木が高く群がり立った所といわれています。

今年一月八日、加茂山を訪ねた時、雪を冠し凛として立つ、二百年を超える神杉の堂々たる姿に、感動を覚えました。

九月から描き始め、十月の半ばになっても、なかなかまとまりません。雪のない時に冬を描くことの難しさ、そして自分の未熟さを痛感しながら、やっと仕上げた絵です。

この度は、全く思いもしなかった、最高の市展賞をいただき大変感激しております。

これからは、先輩に学び、ご指導をいただきながら、更に研鑽を重ねていきたいと思います。

洋画「レッスン」

神保　悦さん（田上町）

指導してくださった先生方、親切なグループの人たちに囲まれ、ここまでやってきました。もう感謝感激です。

今年の春頃から緑がありまして、三条のバレエ教室に度々通っておりました。可愛い幼児や溌溂とした高校生の人たち、眩しく美しく、半日位見とれていました。これを作品にと何とか線書をし、顔もいっそ逆光にして暗くしたところ、先生に少しは表情をといわれ、また洗ったり、勝気な眉にして真剣なレッスンの様子にし、色も平凡につけて何日も放ったりしました。苦し紛れに様々な色を周りにおいたところ、良さそうだからとやりすぎたり、散々でした。いつものことですが、今年もだめかと思いながら搬入したところ、予想外の結果で本当に嬉しく最高の年になりました。

彫刻「Sさん」

神保　悦さん（田上町）

もう三年も前になりますが、その頃、陶芸をやっていた教室に彫塑（ちょうそ）の先生が来られ、いとも気軽に彫塑の初めての教室に入らせていただきました。

やってみると顔の造作の位置関係や高低、首の表情、例えば顔の真横の縦半分が耳の位置と今更ながら確認した次第です。目を大きくすると人形になったり、窪みの深さや鼻の丸み、知らないことが多くて感心いたしました。モデルさんの顔をまじまじとしつこくながめました。最初の粘土のつけ方がゆるいと、後でくずれて何回も作り直したりしたこともありました。それから型取りもグループの皆さんの協力があればこそできますが、一人では無理のような気がします。

これからも楽しんでいきたいと思います。

（神保さんは、洋画とあわせて同時受賞です）

工芸「森の詩」

樋口公子さん（松坂町）

この「森の詩」は、三年程前、湖底に沈もうとしている奥三面の遺跡を見学した時の感動をもとに制作したものです。

表現についていろいろと考えましたが、結局、いにしえから豊かな恵みを与え続けている森が、ひとすじの朝の光を受けてローズレッドに染まっていく一瞬の刻を表現してみようと思い制作に取り組みました。

六月から図案を描き、作業を始めました。しかし、想いとは裏腹に技法の未熟さが気になり迷っております時に、「初心に立ち返ってごらんなさい」のご指導をいただき、草染めの本質に気づかされました。その後、一気に走り、作品を完成させることができました。

書道「猛炬」

青木辰樹さん（高須町二）

「炬」は「たいまつ」のことで、「猛炬」とは勢いの盛んなたいまつを意味します。

私は漢字二～五文字程度の、いわゆる少字数書を中心に制作しています。しかも大抵は今回の作品のように、たたみ一畳分ほど、あるいはそれ以上の大きなものです。そこで題材も勢いのある言葉、迫力のある言葉を選ぶようにしています。

大きい作品を書く場合、表現方法にも自ずと大胆さが必要となってきます。墨を飛ばしたり、かすれを出したり。全身を筆と一体にして、実際の大きさ以上にスケールの大きさが感じられる作品を、と心掛けています。

この度の市展賞受賞は大変大きな励みとなりました。

写真「ソーラン」

樋口貞三さん（石川二）

このたびは、身に余る賞をいただき、うれしさでいっぱいです。

これもクラブの会長さんはじめ、皆様からいろいろなところ、いろいろな場所で御指導して、いつも支えてくれた仲間の励ましの賜物だと感謝しております。

これからも健康に気をつけ、より良い写真を撮りたいと思います。

市展関係の皆様、それと家族の協力に感謝します。

奨励賞・振興賞のみなさん

～奨励賞～

【日本画】
○盛夏　広川昌美（田上町）
○休息の名木　原田峯作（陣ケ峰）

【洋画】
○岡牛（帰機）　桑原　茂（幸町二）

【彫刻】
○秋　有木寛子（高須町一）

【工芸】
○山容　栃澤純一（第二区）
○ORIENTAL　西村貞代（寿町）
○KASUI・カスリ・かすり　鶴巻ジュディ（桜沢）

○無限　中山喜子（上町）
○明日へ（西）　金子良一（秋房）

【書道】
○李賀詩　西方楊恵（若宮町一）
○楓橋夜泊　渡邉春雲（大郷町一）
○いづくにか　稲垣映華（田上町）
○王昌齢の詩　坂上渓雨（都ケ丘）
○中山晋行　蒼緯　岡野秀山（高須町二）
○針切　中山美津（青海町一）
○唐詩三首　相波富喜（小橋二）

【写真】
○熱中　西方恵子（五番町）
○浮き笑い　明田川　洋（新町一）
○街　外石智恵子（前須田）
○自然の絶景　梅　喜八郎（都ケ丘）
○朝霧に濡れて　三浦二郎（五番町）
○盛夏　上木千夏子（三条市）

～振興賞～

【洋画】
○なやみごと　中澤さつき（加茂様高）
○黄色の中　桜井夕希子（加茂高）
○間の一片　小口尚彩華（加茂高）

【彫刻】
○思い出のスニーカー　土田千尋（加茂高）

【書道】
○関戸本古今集　番場香織（三条高）
○西嶽華山廟碑　船久保恵美（三条東高）

加茂市職員の給与などのあらまし

毎年一回お知らせしている職員の給与は、効率的な市政が行われているかどうか判断基準の一つにしていただき、これからもいっそうご協力が得られるようにということが目的です。今年四月一日現在の給与状況をまとめてみました。

1　人件費の状況（普通会計決算）

区　分	住民基本台帳人口（年度末）	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	《参考》13年度の人件費率
14 年 度	15年３月31日 33,206人	千円 14,300,595	千円 113,703	千円 2,411,256	16.9%	16.6%

（注）人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

2　職員給与費の状況（普通会計予算）

区 分	職員数 A	給与費				1人当たりの給与費 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
15年度	292人	1,111,457千円	167,788千円	463,390千円	1,742,635千円	5,968千円

（注）1. 職員手当には、退職手当を含みません。
2. 給与費は当初予算に計上された額です。

3　職員の平均給料月額および平均年齢の状況（15年4月1日現在）

区　分	一般行政職		技能労務職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
加 茂 市	337,818円	41.0歳	287,402円	41.1歳
新 潟 県	359,981円	42.8歳	336,142円	45.5歳

4　職員の初任給の状況（15年4月1日現在）

区　分		市		国			
		決定初任給	採用２年経過目給料額	決定初任給		採用２年経過目給料額	
一般行政職	大学卒	171,500円	185,600円	Ⅰ種	180,900円	Ⅰ種	200,200円
				Ⅱ種	171,500円	Ⅱ種	185,600円
	高校卒	139,500円	149,200円	139,500円		149,200円	
技能労務職	高校卒	136,700円	146,200円	136,700円		146,200円	

5　職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（15年4月1日現在）

区　分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	288,900円	332,200円	392,200円
	高校卒	255,300円	288,900円	332,200円
技能労務職	高校卒	228,700円	241,700円	276,500円

（注）経験年数とは、採用前に民間企業勤務経験などがある場合には、その期間を換算し、採用後の年数に加算した年数をいいます。

6　特別職の報酬等の状況（15年4月1日現在）

区　分	給料月額	期末手当
市　長	817,200円	6月期　1.7月分
助　役	625,900円	12月期　1.8月分
収入役	578,800円	計　3.5月分

区　分	報酬月額	期末手当
議　長	377,000円	6月期　1.7月分
副議長	312,000円	12月期　1.8月分
議　員	294,000円	計　3.5月分

7　一般行政職の級別職員数の状況（15年4月1日現在）

区　分		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	
標準的な職務内容		主事補 技師補	主　事 技　師	主　事 技　師	係長 主査 主事・技師	副参事 係　長 主　任	課長補佐 副参事 係長・主任	課　長 参　事 課長補佐	課　長 参　事	計
職員数		－人	6人	20人	63人	20人	31人	36人	18人	194人
構成比		－%	3.1%	10.3%	32.5%	10.3%	16.0%	18.5%	9.3%	100%
参考	1年前の構成比	0.5%	2.6%	10.7%	29.6%	11.7%	18.9%	17.3%	8.7%	100%
	5年前の構成比	1.3%	2.6%	13.1%	19.1%	26.1%	23.0%	9.1%	5.7%	100%

（注）1. 加茂市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。
3. 一般行政職には、水道事業職員、税務職員、看護師・保健師職、福祉職などを含みません。

8　職員手当の状況

期末・勤勉手当			退職手当			
	期末手当	勤勉手当	（支給率）	自己都合	勧奨・定年	定年前早期退職特例措置　2％～20％加算
6月期	1.55月分	0.7月分	勤続 20 年	21.0 月分	28.875月分	退職時　定年および勧奨の場合　1号給
12月期	1.7 月分	0.7月分	勤続 25 年	33.75月分	44.55 月分	特別昇給　20年以上勤続　1号給（最高でも2号給）
計	3.25月分	1.4月分	勤続 35 年	47.5 月分	62.70 月分	
			最高限度額	60.0 月分	62.70 月分	その他の加算措置　制度なし
						1人当たり平均支給額 定年・勧奨　26,311千円

（注）1. 期末・勤勉手当は国と同じです。職制上の段階、職務の級などによる加算措置が市・国ともにあります。
2. 退職時特別昇給は、国の場合　原則1号俸です。そのほかは国と同じです。
3. 退職手当の1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

特殊勤務手当（14年度）	区分		全職種
	職員全体に占める手当支給職員の割合		33.8%
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		19,827円
	手当の種類（手当数）		22
	代表的な手当の名称	支給額の多い手当	勤務差手当…税務手当、保育手当、福祉調査手当
		多くの職員に支給されている手当	保育手当、給食調理手当、税務手当

時間外勤務手当			
13年度	支給総額	78,377千円
	職員1人当たり支給年額	237千円
14年度	支給総額	78,367千円
	職員1人当たり支給年額	237千円

（15年4月1日現在）

区分	内容	国の制度との異同
扶養手当	配偶者は14,000円、配偶者以外の扶養親族のうち2人まで各6,000円（扶養親族でない配偶者がある場合、そのうち1人は6,500円。配偶者のいない職員の場合は扶養親族のうち1人は11,0000円）で、その他の養親族については、1人につき5,000円。満16歳年度初めから満22歳年度末までの間にある子について、1人につき5,000円を加算。	同
住居手当	借家は月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、負担している家賃の額に応じて最高27,000円（家賃の額が55,000円以上の場合）まで支給する。 自宅は1,000円。ただし。住宅を新築・購入した場合5年間は2,500円。	同
通勤手当	交通機関（バス・電車）利用者は、負担している運賃の額に応じて最高50,000円（運賃の額が55,000円以上の場合）まで支給する。 交通用具（自動車など）利用者は片道の通近距離に応じて2,000円から最高20,900円まで支給する。	同

9　部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

区分		職員数			平成15年度の職員数の増減状況			
部門		平成13年	平成14年	平成15年	増員数	減員数	差引	主な増減理由
一般行政部門	議会	4	4	4				
	総務企画	51	51	51				
	税務	19	19	19				
	民生	71	72	73	1		1	市民福祉交流センター建設による業務増
	衛生	17	17	17				
	労働	2	2	2				
	農林水産	15	15	15				
	商工	8	7	7				
	土木	31	31	30		1	△1	事務事業の見直しによる減
	小計	218	218	218	—	—	—	
特別行政部門	教育	66	65	63		2	△2	事務事業の見直しによる減
	小計	66	65	63	—	—	—	
普通会計計		284	283	281	—	—	—	
公営企業等会計部門	水道	16	15	14		1	△1	事務事業の見直しによる減
	下水道	17	18	17	—	1	△1	事務事業の見直しによる減
	その他	16	16	16				
	小計	49	49	47	—	—	—	
合計		333	332	328	—	—	—	

（注）職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み臨時または非常勤職員を除いています。

市の財政状況

平成十五年度上半期（四月～九月末）の財政状況が公表されました。市の収入と支出を表でご覧ください。

今回、公表された財政状況では、六月に歳出で私立認可保育所費などを、七月に文化会館のトイレ改修工事費の増額補正を行いました。

その結果、九月末での予算総額は百三十四億一千九百五十万円（十五年度当初予算総額は百三十三億九千七百万円）となりました。

各特別会計の執行状況

（9月末現在 単位：万円）

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	22億7,270	8億7,938	10億 807
老人保健	30億9,713	13億9,865	14億3,503
宅地造成事業	4億2,128	9,273	3,490
下水道事業	24億4,745	6億7,015	7億2,370
介護保険	17億6,873	7億5,457	7億 481
在宅介護サービス事業	4億3,963	2億2,941	2億1,044
市民福祉交流センター	2億1,324	6,984	7,769
合計	106億6,016	40億9,473	41億9,464

市税の収入状況

（9月末現在 単位：万円）

税目	調定済額	収入済額	収納率
市民税	9億2,226	4億6,028	49.9%
固定資産税	17億2,103	7億6,707	44.6%
軽自動車税	5,638	5,307	94.1%
市たばこ税	8,085	8,057	99.7%
特別土地保有税	59	0	0.0%
入湯税	791	791	100.0%
都市計画税	1億9,891	8,839	44.4%
合計	29億8,793	14億5,729	48.8%

一般会計予算の状況

（9月末現在）

予算総額

134億1,950万円

（単位：万円）

歳入	科目	予算額	収入済額	収入割合
	地方交付税	42億8,100	27億 403	63.2%
	諸収入	29億6,460	7,722	2.6%
	市税	28億1,876	14億5,729	51.7%
	市債	10億3,580	0	0.0%
	国庫支出金	5億7,229	1億6,493	28.8%
	県支出金	4億5,778	1億 25	21.9%
	繰入金	2億8,407	1,565	5.5%
	その他	10億 520	6億2,252	61.9%
	合計	134億1,950	51億4,189	38.3%

（単位：万円）

歳出	科目	予算額	支出済額	支出割合
	商工費	27億9,967	18億3,297	65.5%
	民生費	26億7,467	12億2,088	45.6%
	土木費	19億9,212	8億6,779	43.6%
	公債費	17億4,048	8億 817	46.4%
	教育費	12億1,632	5億5,145	45.3%
	総務費	10億2,629	4億 970	39.9%
	衛生費	8億 256	3億9,453	49.2%
	その他	11億6,739	4億5,377	38.9%
	合計	134億1,950	65億3,926	48.7%

税に関する作文・標語

「税」の仕組みと役割について知識と関心を高めてもらおうと市内の中学校・高校から作文と標語を募集しました。作文は二百六十三点、標語には六百二十五点の応募があり、この中から次の各賞が決まりました。

〔作文〕

【三南地区納税貯蓄組合連合会長賞入選】

「納税の大切さ」（加茂中三　市川真奈）「住みよい街へ」（葵中三　荒井由美子）「理解からはじめよう」（七谷中三　高橋美那）「税金に対する思い」（若宮中三　小柳麻衣）「大切な『税』」（須田中三　樋口恵津子）

【三条税務署長賞】

「役立つ税金」加茂高三　浅野裕子

【加茂市租税教育推進協議会長賞優秀賞】

「私達と一緒に暮らしている税金」（加茂中三　坂内静織）「税金の大切さ」（葵中三　金内恵子）「私の街と税金」（同　遠藤あい子）「未来へ伝える税のピース」（七谷中二　小柳千紘）「税金の大切さ」（同三　板垣愛子）「税金の必要性」（若宮中三　若月志帆）「税って」（同　木戸実）「生まれ変わる税」（須田中三　和平理沙）「税について」（加茂高三　小柳友里子）「思いやりのある税を」（加茂暁星高二　朝里未咲）

〔中学生・標語〕

【三条税務署長賞】

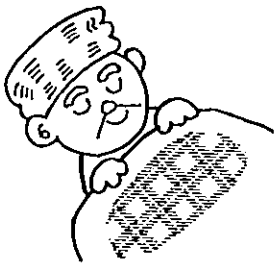
「税金は明日への一歩たくす夢」（加茂中三　坪谷奈美）「税を知るそこから始まる第一歩」（葵中三　戸島萌美）「夢を乗せ未来へ続くみんなの税」（七谷中二　坂井康幸）「納税で開くわれらの新未来」（若宮中二　久保　涼）「納めよう税はみんなのたからもの」（須田中二　清水愛美）

【加茂市租税教育推進協議会長賞優秀賞】

「税金は暮らしを守るみんなの力」（加茂中三　藤田ゆりえ）「消費税私もできる町づくり」（同　坂上優佳）「税金は暮らしをささえるエネルギー」（同　山崎俊）「税金はみんなのためのサポーター」（葵中二　田中望）「税金を生かして豊かな町づくり」（同　永井恵里子）「納税は未来の扉の鍵になる」（同三　小林志乃）「すみやすい暮らしをつくるみんなの税」（七谷中一　菊田あす香）「国民の暮らしのひけつは税にあり」（同二　波塚雅広）「納めよう明るい暮らしをつくる税」（同三　小柳勇樹）「納税は町の活気の源だ」（若宮中一　番場小夜子）「税金をみんなで納めて国づくり」（同二　永井佑果）「消費税小さな納税僕たちも」（同三　藤田芳）「税金はみんなの笑顔を支えてる」（須田中一　樋口香織）「税を知り共にあしたを作ろうよ」（同二　西村元貴）

やさしい医学

不眠症について



今日では多くの人々がストレス社会の中で生活しているため、不眠に悩まされることが少なくありません。不眠は精神科外来で最も多く訴えられる症状の一つです。

不眠の原因には様々あり、心配事・ストレスなどの精神的な要因、生活リズムの乱れ、コーヒー・タバコ・アルコールなどの覚醒作用のある嗜好品、睡眠を妨げるような身体の病気、また、服用中の薬の副作用などでも不眠が起こる場合もあります。

一口に不眠といってもいろいろなタイプがあります。寝付くまでに一時間以上かかる「入眠障害」。睡眠時間の割には満足感が得られず、起きた時に睡眠不足を訴える「熟眠障害」。夜中に何度も目が覚め、その後は朝まで眠れない「中途覚醒」。また「早朝覚醒」は朝早く目が覚め、その後は眠れないというタイプです。

良い睡眠を得るために日常生活で気を付ける点として、

(1)努力して眠ろうとあせらない。
(2)眠くなってから床に入る。
(3)日中の昼寝や居眠りはなるべくしない。
(4)規則正しい生活習慣を身につけ、入床時刻と起床時刻を一定にする。
(5)食前酒程度の少量のアルコールはよいが睡眠薬代わりの酒はやめる。
(6)寝る前のコーヒー、タバコなどの刺激物はひかえる。
(7)散歩など適度な運動や入浴によりストレス解消を心がける。
(8)睡眠環境（音、光、温度、湿度）のチェックや快適な寝具を用意する。

それでもなお眠れない日々が続くようであれば、一度精神科の専門医に相談されることをお勧めします。

（加茂市医師会）

第46回 総体結果

剣道

期日　十月五日
会場　下条体育センター

※選手の所属団体のうち、つつじケ丘剣道教室を（つつじケ丘）で掲載しました。

【個人戦】▼小学生四年生以下(1)目黒誠也（つつじケ丘）(2)坂上瞬（同）(3)大湊和希（加茂剣士会）、古寺未来（下条剣士会）▼同五・六年生(1)坂上稜（つつじケ丘）(2)横山大佑（加茂剣士会）(3)目黒元貴（つつじケ丘）、目黒裕久（同）▼中学男子(1)山崎陽輝（須田中）(2)下村達郎（七谷中）(3)目黒基平（七谷中）、古川拓也（同）▼高校・一般(1)渡辺敏章（加茂剣道会）(2)大久保勝昭（加茂剣士会）(3)増井和彦（加茂剣道会）、大湊陽輔（加茂剣士会）

【団体戦】▼小学生四年生以下(1)下条剣士会A(2)下条剣士会B(3)加茂剣士会、下条剣士会C▼同五・六年生(1)つつじケ丘剣道教室B(2)つつじケ丘剣道教室A▼中学校(1)つつじケ丘剣道教室A(2)つつじケ丘剣道教室B▼高校一般(1)加茂剣士会A(2)加茂剣士会B

サッカー

期日　十月十三日
会場　陸上競技場

【中学生の部】
(1)加茂SC
(2)葵中学校サッカー部
(3)アルビレックス新潟加茂Jr

グラウンドゴルフ

期日　十月十二日
会場　リバーサイド加茂グラウンドゴルフコース

【個人】▼一般男子の部(1)高橋信夫(2)有本憲雄(3)石塚信雄▼一般女子の部(1)保倉セツ(2)坂上朝子(3)有本敦子

【団体】(1)親和会B(2)小野塚印刷(3)陣ケ峰C

バレーボール

期日　十月十一・二十六日
会場　勤労者体育センター

【中学校女子の部】
(1)若中3年女子
(2)須田中学校A
(3)葵中学校E、若宮中学校

【家庭婦人の部】
(1)さわやかクラブ
(2)葵クラブ

太極拳

期日　十月十九日
会場　市民体育館

【太極拳は講習会形式で開催され、十六名が参加されました】

バスケットボール

期日　十一月九日
会場　勤労者体育センター
　　葵中学校体育館

【高校一般男子の部】
(1)MANEGEMENT A
(2)MANEGEMENT B
(3)セキネ

【中学生2・3年生男子の部】
(1)若宮中3年A
(2)葵中2年
(3)加茂中3年A、葵中3年A

【中学生1年生の部】
(1)加茂中学校
(2)葵中学校
(3)若宮中学校

加茂の風土記

下条中興野の米山塔

下条川左岸、県道天神林上条線の中興野集落を五十メートルほど過ぎた土手沿い左側に、ブロック造りトタン屋根の小さな祠がある。中に小さな「米山塔」の石塔が二つ祀られている。その一つを見ると、石が風化して彫られた銘文が読みにくいが、目を凝らすと表面に「明和二年（一七六五）酉八月吉日　奉勧請薬師如来」と見える。また左側面に「高橋氏」とあり、中興野の重立ち、長左衛門家が建立した「米山塔」であることが分かる。

米山は刈羽郡と頸城郡の境界に屹立する海抜九百九十二メートルの孤峰である。山の姿は端麗で美しく、古くから薬師如来が祀られ、神仏混交の江戸時代では豊作を祈る農業神として崇敬されてきた。

県内に残る米山塔は、新発田市を北限に蒲原平野一帯に広がって建立されている。これは米山（米山薬師如来）信仰によるもので、江戸時代の人たちは米山に五穀豊穣を祈り、ひいては村の安穏な生活を願って米山塔を建立してきた。それは各地に「米山講」が結成されたことや、その講中により米山から薬師如来を勧請したことなどにより、米山塔が建立されてきた。

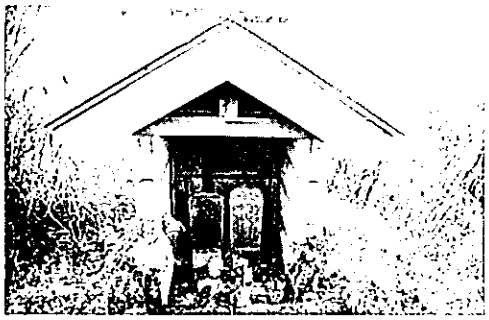
まだ筆者自身調査をし終えていないが、加茂市内に残る米山塔はこのほか、同じ下条福島の「米山塔」、赤谷地区の陣ケ峰踏み切り傍らの「米山薬師」、前須田のバス停近くの「米山薬師如来」などが見られる。

中興野の祠のもう一つの米山塔は上部が欠けながらも「米山薬師如来」と判明するが、石の風化から年号が判然としない。前述の完形のそれは今から約二百四十年前の明和二年秋の八月の建立である。

晴れた日、祠の傍らに立って、南西の方向を眺めると、平野の向こうに小さく米山の山容を遠望することができる。年々歳々、人や物が変わろうと豊穣を祈る心は、江戸時代も現代も変わることはない。不良年の今年こそ来る年の豊穣を祈るものである。

（関　正平）

二基のうち　明和二年八月勧請の米山塔



下条の中興野　祠に二つの米山塔

●発行　加茂市役所　新潟県加茂市幸町二丁目三番五号　〒959-1392　☎0256-52-0080　FAX0256-52-2722
ホームページ　http://www.city.kamo.niigata.jp
e-メール　kamo@city.kamo.niigata.jp
●編集　総務課
●印刷　㈱小野塚印刷所

人口のうごき

11月1日現在

世帯	9,891	(± 0)
人口	33,081	(− 6)
男	16,019	(− 6)
女	17,062	(± 0)

（　）内は前月比

（10月異動分）

出生 30（男20 女10）
死亡 32（男16 女16）
転出 55　転入 51

よかったね

厚生労働大臣表彰

三浦チヱさん（助産師・五番町）

三浦さんは、多年にわたる母子保健の向上などの功績により、富山市で開催された母子保健家族計画全国大会で厚生労働大臣から表彰状を贈られました。

文部科学大臣表彰

吉村宇一郎さん（医師・駅前）

吉村さんは、学校医（七谷小学校）として、学校保健推進の功績により、全国学校保健研究大会で文部科学大臣から表彰状を贈られました。

社会福祉賛寄付金

▼藤田義夫さん（松坂町）から　三万円、介護用具一式

▼野口善保さん（故・野口堅太郎さんのご遺族　矢立）から　十万円

▼涌井洋一さん（故・涌井九郎さんのご遺族　下興屋向）から　百万円

▼金子美知さん（故・金子シズノさんのご遺族　神明町二）から　三万円

▼故・千野昭子さんのご遺族から　三万円

▼北陸ガス株式会社から　三万五千円

社会福祉事業資として

▼長澤孝司さん（殻町）から　三万円

▼加茂ショッピングセンター協同組合から　五千百六十六円

福祉事務所へ

▼小林範二さん（故・小林五三郎さんのご遺族　新栄町）から　介護用具一式

交通事故防止に

▼新潟県トラック協会三南支部から　十万円

下条川ダムへ

▼加茂ライオンズクラブから　鬱金桜二本

おわび

「人口のうごき」は発行の都合により「11月1日現在の『人口のうごき』」を掲載しました。